

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 22.2.19 第 174 回国会第 2 号

2月19日(金) 第2回の委員会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件

- ・菅財務大臣、亀井国務大臣(金融担当)、大塚内閣府副大臣、野田財務副大臣、峰崎財務副大臣、長浜厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

石井 啓一君(公明)

- ・6月の改正貸金業法の完全施行に向けて、運用上の問題点について検討がなされているが、その進捗状況を伺いたい。また、セーフティネット貸付の拡充や債務者へのカウンセリング体制の充実が必要ではないか。
- ・税込減を理由に、マニフェストの実現を一部先送りするのは、予算の組み替えで財源を賄えるとしていたことと矛盾するのではないか。
- ・マニフェストでは、平成23年度の政策実現のための所要額を12.6兆円としているが、どのように確保するつもりか。

佐々木 憲昭君(共産)

- ・ここ10年の経済格差の拡大について、財務大臣はどのように認識しているか。また、格差是正のための税制の役割についての見解を伺いたい。
- ・中小企業金融円滑化法施行後の貸付条件の変更等の実施状況について伺いたい。
- ・改正保険業法により、存続が困難になっている自主共済への救済措置を早急に講じるべきではないか。

野田 毅君(自民)

- ・鳩山内閣総理大臣の政治資金問題に対する菅財務大臣の見解を伺いたい。また、菅財務大臣は鳩山内閣総理大臣に税務調査を受けるように促すべきではないか。
- ・マニフェストの財源が確保できなかった要因と、マニフェスト記載の税制改正項目の中で達成できた項目とできなかった項目について伺いたい。
- ・「控除から手当へ」の基本理念を伺いたい。また、課税最低限の引き下げや税額控除への転換により納税人口が増えることに対してはどのように対応するのか。

山本 有二君(自民)

- ・安定した国債の消化は可能であるか。
- ・中期財政計画策定の見通しについて伺いたい。
- ・中小企業金融円滑化法の実効性について伺いたい。

小山 展弘君(民主)

- ・中小企業金融円滑化法に基づく貸付条件の変更等の実績及びその評価について伺いたい。
- ・新銀行東京に対する業務改善命令以後の監督状況はどのようになっているのか。
- ・ゆうちょ銀行の預入限度額見直しの影響及び今後の方向性について伺いたい。

村田 吉隆君(自民)

- ・鳩山内閣総理大臣の政治資金問題について、母親からの資金提供は政治資金規正法で制限されている寄附に当たると考えられるがどうか。
- ・いわゆる財金分離について、菅財務大臣の評価を伺いたい。
- ・社会保障・税に関わる番号制度の導入について、住基ネット導入に反対した経緯を踏まえた、菅財務大臣の見解を伺いたい。

岡田 康裕君(民主)

- ・我が国の厳しい財政状況について、菅財務大臣の認識と今後の財政健全化に向けた取組について伺いたい。
- ・今後策定される中期的な財政フレームについて、国民に対して分かりやすく説明を行う必要があると考えるがどうか。
- ・財政健全化のための具体的な最終目標を設定すべきであると考えますが菅財務大臣の見解を伺いたい。

- 2 平成 22 年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律案（内閣提出第 3 号）
所得税法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 14 号）
租税特別措置の適用状況の透明化等に関する法律案（内閣提出第 15 号）
・菅財務大臣から提案理由の説明を聴取しました。